

2022年9月13日

関係各位

山交バス株式会社
代表取締役社長 高橋 智

乗務中の情報端末の使用について（お詫び）

弊社の運転士が路線バスの乗務中に自らが所有する情報端末を操作する事案が発生しました。本件を目撃された一般の方からのご指摘と内部調査の結果、判明したものです。

お客様をはじめ関係者の皆様には多大なご心配とご迷惑をお掛けすることとなりましたことを、心よりお詫び申し上げます。再発の防止に努め、皆様の信頼回復に向けて尽力してまいります。

記

1. 事案の概要について

① 発生年月日： 2022年8月9日

山形市内を運行中において信号待ちをしていた際に、メールの受信確認のため自らが所有するタブレット端末を操作および目視したものです。なお、走行中の端末操作は確認されませんでした。

② 発生年月日： 2022年9月7日

山形市内を回送運行中において信号待ちをしていた際に、歩行者側の信号が青になったことのみを確認し、自らの進行方向の赤信号を確認せずに発車する事案が発生しました。本件について一般の方からのご指摘があり内部調査を実施したところ、同一運行中の別の交差点での信号待ちの際に、自らが所有するスマートフォンの画面確認を行っていたことが確認されました。なお、走行中の端末操作は確認されませんでした。

①、②とも同一の担当運転士になります。

2. 再発の防止について

弊社におきましては、社内規程にて運行中の端末操作と運転席周りでの端末操作を禁止しております。再発防止のために運転士はもとより、社内全体に対して注意喚起と指導を実施いたしました。

以上